

出水期に備えましょう



ハザードマップの確認

自宅周辺の浸水区域や土砂災害の危険箇所、避難所について「やすぎ市民防災マップ」(各戸配布済) または市ホームページ(右2次元コード)で確認しておきましょう。



webハザードマップを公開しました

webハザードマップ▶
安来港周辺の一部



これまで紙媒体で確認していたハザードマップが、令和7年4月からいつでもどこでもパソコンやスマートフォン等で閲覧できるようになりました。デジタル化した地図に各種情報を重ねることで、複数の情報を視覚的に確認することができます。市ホームページ(右2次元コード)から利用してください。
(※) 利用時には必ず「利用上の注意」を確認してください。



避難先の検討

災害が発生する恐れがある場合、市が発令する避難情報にあわせて、開設する避難所をお知らせします。早めに避難して安全を確保しましょう。

浸水等により避難が難しい状態になった場合は、自宅の2階以上に避難するなどして安全を確保してください。

また、災害が起こる前から、市が指定した避難所のほかに安全な場所にある親戚・知人宅への避難について話し合っておきましょう。避難所での密集を避けることにつながります。

※指定避難所は「やすぎ市民防災マップ」や市ホームページで確認できます。

6月から10月にかけては、集中豪雨や台風などで河川の氾濫や低い土地での浸水、土砂災害等が発生しやすい時期です。

いつ起こるかかわからない災害に備えるためにいざという時は早めの防災行動をとりましょう。

備蓄品の準備

万が一災害が発生した場合に備えて、水や食料、生活用品などの備蓄を確認してください。いざという時はすぐに避難できるように非常持ち出し品の準備をお願いします。

備蓄品例 水、食料(レトルト食品・缶詰・乾パン等)、トイレトペーパーなど



非常持ち出し品例 飲料水、食料、貴重品、救急用品、懐中電灯、携帯ラジオ、衣類、メガネ、服用中の薬、携帯電話の充電器など

各種情報の入手方法

自らの命を守るために、台風や大雨などに関する気象情報を常に収集することが大切です。テレビやラジオから得る情報のほかに、雨量や河川の水位情報などの入手方法を確認しておきましょう。

行政告知端末、市ホームページ、どじょっこテレビ等のほかに、「ヤフー防災速報」(ダウンロード方法等詳細は右2次元コード)で市が配信する緊急情報をプッシュ通知で受信することができます。



もしも自宅が被害を受けたときは・・・

片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。

市から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険を請求する際などに、とても役に立ちます。

問い合わせ 防災課 ☎23-3074

